

5 本時(1時間目)の学習指導

(1) 目標 ・好きなアニメ調べアンケートを「正」の字を使って表し、表にまとめることができる。

・落ちや重なりなく数えるために、自分なりの考えで資料を整理し、友達と話し合う中で、よりよい解決方法を見つけることができる。

(2) 学習指導過程

学習活動	相	予想される児童の反応	教師の支援等 課題解決能力 見見通し 共感性
1 学習課題を確認する。	つかむ	<p>3年2組で人気があるアニメは何だろう。このままでは、どのアニメが人気があるのかわからないなあ。</p>	<p>課 クラス全員の好きなアニメの資料を、ばらばらに提示し、どのアニメが一番人気があるのか調べるために分類・整理していく方法を考えるという課題が明確になるようにする。 ・提示した資料と同じワークシートを配布する。</p>
2 見通しを立てる。		<p>何がいくつか、まちがえないように正しく数える方法を考えよう。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> 同じアニメを順に番号をうって数える。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> 資料の同じアニメに同じ印や色をつけ、後で数える。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> 別の用紙に やレ点などの記号を かけて数える。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> 「正」の字を かけて数える。 </div> </div>	<p>見 算数コーナーに考え方の参考となるように、誕生日調べの資料や学級委員選出時の写真を提示しておくことで、落ちや重なりがない整理の仕方の見通しがもてるようにする。</p>
3 自分なりの方法で解決する。	つくる	<p>ぼくは、 の方法で調べてみよう。 の方法で調べた友達と交流したいな。</p> <p>わたしは、 の方法で、調べてみよう。 の方法で調べた友達と交流したいな。</p>	<p>・見通しが立たない児童は、スペースのヒントコーナーへ集め助言していく。 ・平仮名や片仮名が正しく読めない児童には、アニメのイラスト入りの資料を渡し、絵を見ながら整理できるようにする。 ・やり直しやまちがいをチェックするカードを用意し、よさや問題点を考えるための手立てとさせる。 ・速く解決できた児童には、違う方法でも整理してみるように助言する。</p>
4 それぞれの解決方法のよさや問題点を話し合う。		<p>は、同じアニメを探するとき、見落とししてしまうことがあるけど、とても速く数えられるよ。 は、少し時間がかかるけど、見落とししたり2回数えたりすることがなく正確に数えられるよ。 は、後で の数を数えるのが面倒だけど、種類ごとに見ていかなくていいので便利だよ。 は、端から順に1つずつ確実にできるので、見落とししたり重ねて数えたりすることがなく、正しく数えられるよ。5のかたまりになっているので、速く数えられるよ。 は、好きなアニメのカードを一枚ずつ見せられても、きちんと整理できるので便利そうだよ。</p>	<p>共 友達の表現のよさを広め、自分の考えの参考にできるように考えを交流する場を設ける。また、それぞれの解決方法のよさや問題点を比較できるように、他の方法で整理した友達と交流できるようにする。 ・「正」の字を書いて整理することのよさに気付かせるために、好きなアニメを一枚ずつのカードに書いて一枚ずつ見せるようにする。</p>
5 「正」の字を書く方法で表を整理する。	確かめる	<p>「正」の字を書いていく方法が、速く、簡単で、正確に数えられそうだ。</p> <p>「正」の字を書いていく方法で、好きなスポーツの人数を表に整理していこう。「正」の字を5つのかたまりで数えて、数字に書き直そう。</p>	<p>評 資料を整理したり友達と話し合ったりする中で、落ちや重なりのない整理の仕方を考えることができたか。</p> <p>・「正」の字を使うことのよさを全員に実感させるために、3年生全体の好きなスポーツの資料を提示し、整理できるようにする。</p>
6 本時のまとめをする。	ふりかえる	<p>3年2組の一番好きなアニメは、一番好きなスポーツは だね。</p> <p>人数を調べるには、5ずつにまとめられる「正」の字を書くのが便利だ。</p>	<p>・「作戦メモ」に自分のがんばりや分かったことをまとめさせることで、学習の振り返りができるようにする。</p>